

# 私の大切な家族



三田市立弥生小学校六年一組 杉原七美

私には、おばあちゃん、おじいちゃん、ひいおばあちゃんがいます。

私は、よくおばあちゃんの家に行きます。家が近いので、困った時にはすぐに行くことができます。おばあちゃんの家に行った時に、さいほうや料理を教えてもらうこともあります。細かくていねいに教えてくれるし、私に合わせて説明してくれるので、すぐ理解できます。おばあちゃんは、何か作品を作る時は、ずっと集中して続けているので、見習いたいと思います。

おばあちゃんは、本もよく読んでいます。図書館では、私に読んでほしい本を探して、すすめてくれます。本の読み聞かせも上手で、メリハリをつけて読んでくれるので、私も飽きずに最後まで聞くことができます。

ひいおばあちゃんの家にも、よく行きます。今年で八九才ですが、家に行くと私のことを忘れず覚えてくれていて、気配りしてくれているのが分かるのでうれしいです。

おばあちゃんたちは、長く生きてきたので、その経験から色々な話をしてくれます。ひいおばあちゃんは、小さいころに経験した戦争の話を、おじいちゃんは、小学生の時に迷子になりそうになった話をしてくれました。私は、自分が経験したような気になって、私ならどうするかを考えることができました。

おばあちゃんたちは、今、色々なことに挑戦しています。おじいちゃんは、いちごを育てています。毎年しゅうかくしてみんなでおいしく食べています。

でも、鳥や虫に食べられたりして、失敗したこともありました。その時には、鳥などに食べられないようにカバーするネットを作っていました。

ルーペを作ろうとした時にも、何回も失敗しましたが最後まで挑戦して、完成させていました。失敗しても、あきらめずにやり続けることが大切だと感じました。私もそうになりたいです。

おばあちゃんたちは、とても優しいです。でも、一度おこらせてしまったことがあります。私が、身勝手なことをしたと反省しました。その時以外は、多少のわがままでも「だいじょうぶ、だいじょうぶ」と許してくれました。私が悲しくて泣いてしまった時は、いつでもなぐさめてくれます。

私は、おばあちゃんたちが大好きだし、これからもまだまだ教えてもらわなければいけないことがたくさんあると思います。私が一人前になるまで、できる限り見守ってほしいと思っています。それまで、まだまだ健康で元気でいてほしいと思っています。

